

## 太陽電池の界面制御技術

新潟大学の後藤和泰と申します。専門は電気電子材料工学で、結晶シリコン系の太陽電池の材料や材料間の界面制御に関する研究を行ってきました。半導体デバイスは、半導体、誘電体、金属といった様々な材料の積層構造です。そのため、電子機器の性能や信頼性を向上させるためには、材料そのものの質に加えて、材料間の界面の制御が極めて重要になります。太陽電池も同じように界面の制御によって性能が大きく変化します。そのため、太陽電池の界面制御技術は、太陽光発電の導入を加速し、脱炭素社会の実現につながります。今回は、開発した材料について簡単に紹介させていただきます。・・・